

# 富士トランスデューサ パソコンローダ

# WH7PD

WH7シリーズ

パソコンローダ(WH7PD形)は、トランスデューサの入力信号レンジ、熱電対、測温抵抗体の種類、測定温度範囲、バーンアウト等の設定、ゼロ、スパン調整などを行う時に使用します。(ただし、電圧⇄電流の変更は不可)

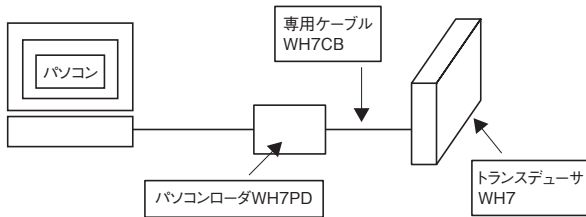
また、パソコンとの接続はパソコンローダに付属のケーブルを、トランスデューサへの接続は専用ケーブル(WH7CB形…別売)を使用します。

※ RS-485 伝送機能使用時には必ず必要です

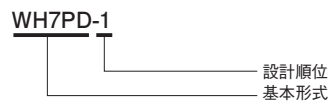


(No.AF99-351)

## ■接続例(調整器と本体との接続)



## ■形式(=商品コード)

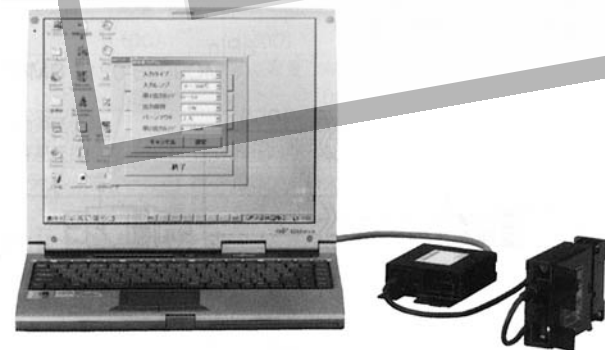


## ■仕様

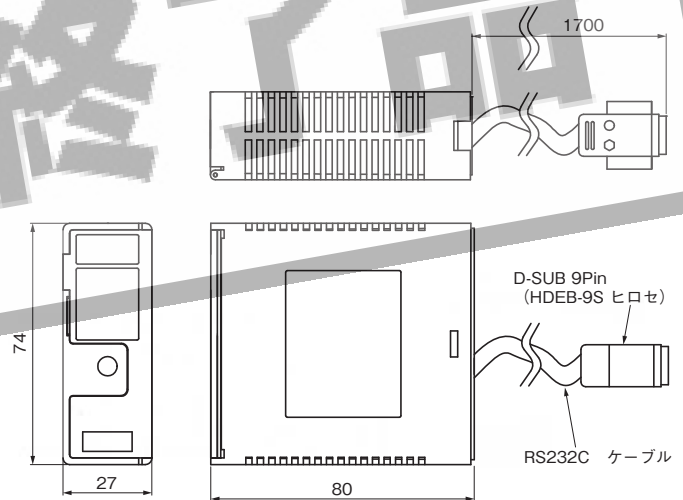
形式	WH7PD(ローダソフト Wh7Loader.exe, Wh9mt.exe同梱)
通信仕様	RS-232C相当
通信速度	9600bps
使用温度範囲	0~50°C
使用湿度範囲	90%RH以下(結露なきこと)
電源	変換器から供給
接続	コネクタコード(専用ケーブル付)
その他	PC Compatible機専用
質量	約70g
ローダソフト動作環境	Microsoft Windows 95/98 PC/AT互換(DOS/V)機 専用

※Microsoft Windowsは米国Microsoft Corporationの米国およびその他の国における登録商標または商標です。

パソコンローダにより入力、出力のレンジ変更ができます。



## ■外形寸法図(単位:mm)



## □データ画面と変更内容

**WH7DC形の例**  
設定値プログラムにより、入力レンジ、第1出力レンジの変更ができます。(ただし、電流⇄電圧の変更はできません)

**WH7TC形の例**  
設定値プログラムにより、下記の変更ができます。  
・入力タイプ  
・入力レンジ  
・第1出力レンジ(ただし、電流⇄電圧の変更はできません)  
・バーンアウト方向  
・起動、動作遅延

**WH7AS形の例**  
設定値プログラムにより、下記の変更ができます。  
・入力レンジ(ただし、電流⇄電圧の変更はできません)  
・出力レンジ  
・ヒステリシス幅  
・起動、動作遅延

**WH7DC形の例**  
計測値モニターにより、入力値および出力の計算値をモニターできます。

**WH7DC形の例**  
出力値調整では、第1出力、第2出力の調整ができます。

